

平成19年度 決算報告書  
(第4期)

国立大学法人鳥取大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,066	12,066	0	
施設整備費補助金	2,366	2,374	8	(注1)
補助金等収入	33	304	271	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	52	52	0	
自己収入	16,729	18,484	1,754	
授業料、入学金及び検定料収入	3,701	3,638	△ 63	(注3)
附属病院収入	12,893	14,478	1,586	(注4)
雑収入	135	366	231	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,278	1,407	129	(注6)
引当金取崩	1	0	0	
長期借入金	667	667	0	
承継剰余金	206	—	△ 206	(注7)
目的積立金取崩	440	836	396	(注8)
計	33,838	36,192	2,355	
支出				
業務費	23,266	24,737	1,472	
教育研究経費	12,202	11,599	△ 602	(注9)
診療経費	11,064	13,138	2,073	(注10)
一般管理費	3,448	3,579	131	(注11)
施設整備費	3,085	3,093	8	(注1と同じ)
補助金等	33	304	271	(注2と同じ)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,278	1,306	28	(注12)
長期借入金償還金	2,522	2,521	0	
国からの承継賠償金支払金	206	—	△ 206	(注7と同じ)
計	33,838	35,543	1,705	
収入-支出	0	649	649	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、当初予定していなかった災害復旧費が措置されたことにより、予算金額に比して決算金額が8百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算額に計上していなかった研究拠点形成費等補助金(グローバルCOEプログラム)等の受入により予算金額に比して決算金額が271百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、平成20年度入学者に係る授業料の前納額が少額であったことから、予算金額に比して決算金額が63百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、手術件数の増、7対1看護による上位移行及び平均在院日数の短縮による報酬単価のアップ、外来における検査及び画像診断の増等により予算金額に比して決算金額が1,586百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として研究関連収入、動物病院収入等の増収により予算金額に比して決算金額が231百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階では予定していなかった民間等からの寄附金、受託・共同研究の獲得に努めたため、予算金額に比して129百万円決算金額が多額となっています。
- (注7) 承継剰余金については、訴訟等の結果が確定しなかったため、予算金額に比して決算金額が206百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより予算金額に比して決算金額が396百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、経費の節減、人件費の抑制、退職手当の減等により予算金額に比して決算金額が602百万円少額となっています。

(注10) 診療経費については、附属病院収入の増収に伴う経費、退職手当及び目的積立金取崩の増により予算金額に比して決算金額が2,073百万円多額となっています。

(注11) 一般管理費については、目的積立金による附属病院の保育所新営経費等の増により予算金額に比して決算金額が131百万円多額となっています。

(注12) (注6) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が28百万円多額となっています。

○「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前年度よりの繰越額からの使用額70百万円。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費、一般管理費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、固定資産取得に関わる支出であります。

○記載金額の表示について

記載している決算額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。